

令和5年度第3回学校関係者評価委員会議事録

日 時：令和6年3月25日（月）13：00～14：24

場 所：千葉経済大学 大会議室

出席者：

1	佐久間 勝彦	理事長・大学学長・短期大学部学長・高校校長
2	佐久間 美羊	副理事長・教授
3	吉田 悦教	常任理事・特任教授
4	山浦 裕幸	大学副学長・経済学部長・教授・理事・評議員
5	横山 洋子	こども学科長・教授・評議員
6	飯島 一生	高校副校長・評議員
7	山口 博	法人事務局長・大学・短期大学部事務局長・理事・評議員
8	秋元 浩	千葉経済大学附属高等学校同窓会会長・評議員
9	亀田 洋子	千葉経済大学短期大学部同窓会会長・評議員
10	鹿島 富士夫	千葉経済大学同窓会会長・評議員
11	片桐 健太郎	千葉経済大学附属高等学校父母の会会長・評議員
12	畠山 一雄	(学)畠山学園理事長・評議員
13	茂手木 直忠	医療法人社団直心会理事長・校医・産業医・評議員
14	影山 美佐子	ビジネスライフ学科長・教授・理事・評議員
15	村松 重彦	(学)聖メリー学園・小ばと幼稚園理事長、園長・評議員
16	石渡 哲彦	株式会社千葉銀行顧問・評議員
17	栗沢 尚志	大学教授・評議員
18	藤生 裕	大学教授・評議員
19	佐久間 達郎	評議員
20	積田 悟	前高校副校長・評議員
21	嶋田 和雄	(株)グランドアール取締役・評議員
22	青柳 俊一	(株)千葉興業銀行会長・学園監事
23	植松 省自	税理士法人京葉会計事務所代表社員・学園監事

1. 開会のあいさつ

2. 理事長あいさつ

議題

【1】令和5年度第2次補正予算について

議長の指名により、石井 伸 会計課課長代理から、別添1「令和5年度資金収支第2次補正予算書・事業活動収支第2次補正予算書」に基づき、科目ごとに5年度第1次補正予算に対する5年度第2次補正予算の増減額及び増減理由の説明があった。

【2】令和6年度事業計画について

議長の指名により、山口 博 法人事務局長から、別添2「令和6年度事業計画（案）」に基づき、令和5年度と異なる点を中心に学園全体及び各学校の令和6年度事業計画が説明された。

基本方針

議長の指名により、山口 博 法人事務局長から、別添2「令和6年度事業計画（案）」に基づき、令和5年度と異なる点を中心に学園全体及び各学校の令和6年度事業計画が説明された。

令和6年度事業計画

〔千葉経済学園〕

●建学の精神の啓蒙

建学の精神「片手に論語 片手に算盤」について、「今月の論語」の教室掲示や総合図書館の「論語コーナー」設置等の多様な取り組みを通して周知徹底を図る。令和6年7月に新1万円札の顔が渋沢栄一に変更されることから、総合図書館等で「建学の精神」に関連する企画展や講演会を行う。

●寄附募集活動の展開

寄附募集活動を広く展開し、「旧鉄道聯隊材料廠煉瓦棟の保存」「教育環境の充実」等の記念事業を遂行していく。

●私立学校法の改正への対応

私立学校法の一部改正（令和7年4月）を踏まえて、寄附行為の改正を行い、堅実な学園経営に努める。

●CO₂排出削減

全私学連合の策定した「環境自主行動計画」を踏まえて、消灯励行・間引点灯・コピー印刷の削減等に取り組み、CO₂排出削減に努める。

●大学・短期大学・附属高校の三者連携推進

「千葉経済学園三者連携会議」を軸に、教育・入試・進路指導・広報・ボランティア活動等にわたって、三者の密なる連携を推進する。

●資格取得の奨励

各種検定・資格の取得を奨励し、高度資格の取得者には奨励金を授与する。

●広報活動の充実・強化

高校・短期大学・大学進学適齢人口の減少を踏まえて、学園の魅力や強みの発信を強化して認知度を高める。オープンキャンパス参加者には継続的に情報発信し、志願・入学へと連動するように導き、学則定員を確保する。

① 附属高校の広報活動

普通科・商業科・情報処理科の3学科を設置する「懐の深い高校」であることを、ホームページや KEIZAI ニュースで広報する。部活動や資格取得などで頑張る生徒を心から応援する学校であることを広く知らしめ、向学心のある生徒の入学に努める。

●ボランティア活動の推進

学園ボランティアセンターが中心となって、地域の関係団体と連携したボランティア活動を推進し、学生・生徒に「利他の精神」を育む。

●FD 及び SD の充実

学園事務局では部局を超えた協働・協力体制を整え、そのうえで教職協働によって学園の教育環境の充実を図る。

●ICT を活用した教育の充実

ICT 機器（パソコン、タブレット型端末、プロジェクタ等）を活用した授業の実施・拡充に取り組み、教育の質の向上を図る。また、教室・実習室の ICT 機器・機材もニーズに合わせて更新していく。

●事務職員の勤務体制の改善

働き方改革の趣旨を踏まえて、時間外勤務については、3日前の申請を徹底して事前に事務局長が承認した業務に限定する。また、時間外勤務の状況を踏まえつつ、事務職員に対する変形労働時間制の導入を検討する。

●防災備蓄の整備

学生・生徒・教職員用に非常用食料や保温シート等の防災用品を計画的に備蓄し、災害時に備える。

[千葉経済大学附属高等学校]

●「令和の日本型学校教育」の実現に向けた教育

新学習指導要領の謳う「主体的・対話的で深い学び」の実現に努め、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を適切に連動させて、生徒一人ひとりの可能性を引き出す授業展開に努める。

●学力向上のための授業内容の充実

新教育課程への移行最終年となり、各教科の指導内容および評価について共通理解をはかり、学校運営の様々な取組を教育課程中心に捉え評価し、教育活動の質の向上に努め「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、より良い教育課程とするためカリキュラムマネジメントを進める。また、タブレットの導入に伴い、学習ソフトクラッシーなど ICT の積極的な活用を推進していく。

●観点別評価を活かした学習評価とキャリアパスポートによる指導の充実

新学習指導要領が提示する観点別評価を適切に行い、3観点（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）の評価を活かして生徒の学習支援に努める。学内外で行う活動を「キャリアパスポート」に適宜記載させることで自らの成長を確認させ、キャリア指導を活かしていく。

●普通科の教育充実

特進コースでは、理系学部への受験に対しても適切な進学指導ができるように務める。また、活用の進んでいるスタディーサプリの活用などをさらに駆使して、より一層の ICT の有効利活用を図る。

文理一般コースでは、多彩なカリキュラムのもとで主体的に学習に取り組み、自らの適性を見だし確かな学力を身につけ、目標とする進路に繋がられるよう適切な指導を行う。

●商業科の教育充実

商業科ではビジネス教育を充実し、すべての生徒の資格取得を促すとともに高度資格に挑戦する生徒を支援する。また、ビジネス社会で役立つ実学として商業教育の集大成として位置づけている課題研究については、地域の産業界との連携も進んできているので、今後はさらに発展的な内容へと進めていく。

●情報処理科の教育充実

情報処理科では、変化する ICT 社会で活躍するための基礎的な知識やプログラミングスキル等を習得させ、情報を効率よく収集、加工、表現する力が身につくよう指導の充実に務める。また、経済産業省の国家試験等の資格取得の支援を積極的に行う。

●部活動の意義を踏まえた振興充実

部活動については、引き続きガイドラインに則り、教員の働き方改革も含め、健全で効率的・効果的な活動により生徒の資質・能力を伸ばして活性化していく。各種大会やコンクールでの活躍を目指すとともに、文化部においても学校内外に文化的発信ができるよう振興に努める。

●教員研修の充実

経験年数の浅い教員への研修を計画的に実施し、教員としての資質の向上を図る。また、新学習指導要領の教育内容の共通理解を深めるため、全教員が教科研究授業や論語教育研究などにより、教育力の向上を目指すよう努める。また、タブレットの活用推進のための研修を随時実施していく。

●生徒募集と広報活動

ホームページや KEIZAI ニュースなどによって、魅力ある高校としての広報充実に努め、より高い学力レベルの生徒や、いろいろな分野で頑張る生徒の入学が実現されるように、全教職員が総力をあげて取り組む。

●いじめ及び体罰の防止による健全な教育活動の展開

「いじめ及び体罰防止対策委員会」を活かして、いじめ及び体罰の防止に積極的に取り組むことで、健全な教育活動の展開に努める。

●施設設備の改修

第 1 体育館の空調施設の配備ならびに 2 号館に配置されている家庭科室を別館 1 階に移転して整備する。

【3】令和6年度予算について

議長の指名により、石井 伸 会計課課長代理から、別添3「令和6年度資金収支予算書・事業活動収支予算書」に基づき、科目ごとに5年度第2次補正予算に対する6年度予算の増減額及び増減理由の説明が行われた。

【5】その他（報告事項等）

近況報告

飯島 一生 高等学校副校長より近況報告があった。

3月2日に卒業式を迎え 577 名が無事、巣立って行きました。進路状況は大学進学が 61.7%、短期大学 9%、専門学校 21.6%で、3月18日現在で 92.49%の生徒が進学を決定しました。大学進学の特進コースから3名の者が千葉大学合格者を出すことが出来ました。4月の入学生生徒は、560 名定員のところを 778 名の入学生を迎えることになっています。その中で、普通科は学則定員が 320 名のところ 445 名（内、298 名が本校第一希望単願者）、情報処理科は学則定員 120 名がところ 141 名（内、119 名が本校第一希望単願者）、商業科は学則定員 120 名ところ 192 名（内、163 名が本校第一希望単願者）、全体では、学則定員 560 名ところ 580 名の本校第一希望単願者が入学してきます。4月から迎える多数の生徒が満足のいく教育を提供しなければと言う重い責任を感じております。

・意見

高校も 15 歳未満人口が減少のなか生徒数が増えているのは、教職員みなさんの日頃のご努力の結果が数字に出ていると思うという意見があった。